

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯田線で行く南信州の旅
事業主体 (連絡先)	JR飯田線活性化期成同盟会 (飯田市役所リニア推進課公共交通係 0265-22-5361)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	837,102 円

事業内容

【JR飯田線を活用したツアーによる利用促進】

飯田線主要駅周辺(飯田駅前中心市街地商店街および天竜峡駅周辺)において2,000円(税込)以上の買い物や飲食を条件とし、お得な料金で参加できる飯田線のツアーを開催した。

○実施日 令和元年10月26日(土)

○参加者 飯田下伊那地域から40名

飯田駅から臨時列車に乗り、秘境駅ランキング全国第3位の小和田駅で途中下車し周辺や駅舎を見学。列車内ではフリーアナウンサーによる飯田線沿線の見所や車窓から見える景勝地の案内、飯田線駅名ビンゴなどの車内イベントを実施。豊川駅にて下車後、徒歩にて豊川稲荷へ向かい団体向け限定体験メニューを行ったのち、自由に境内散策、門前町での買い物等を楽しんだ。豊川駅から再び列車に乗り、飯田への帰路についた。



【小和田駅(秘境駅)の見学】

事業効果

- ①参加者に飯田線の利用頻度についてアンケートを実施したところ「年に1回程度」「全く利用しない」という方が6割を占めていた。飯田線の特色や見どころを知っていただくと共に、普段の生活で電車をほとんど利用されない方々への利用促進となった。また、リピーターが約4割、さらに知人からの紹介での参加者が約4割で、飯田線を活用した旅行に参加することにより、飯田線の魅力を知り、飯田線の楽しみ方を家族や知人に伝えてもらうことが徐々に広まってきている。また、飯田線の沿線自治体である豊川市と連携し事業を進めることにより、参加者に対して豊川市や飯田線沿線の詳細な観光案内ができ、今後の利用に繋がるきっかけ作りができた。
- ②飯田駅前中心市街地および天竜峡駅周辺で2,000円以上の買い物や飲食を応募条件としたことにより商店街の賑わい作りに貢献できたほか、参加者とチラシ設置店舗の両者に飯田線の魅力をアピールすることができた。

【目標・ねらい】

- ① JR飯田線の利用促進
- ② JR飯田線の魅力アピール

※自己評価【B】

【理由】

ツアー内容や電車を利用した感想は概ね好評であったことから飯田線の魅力をアピールでき、利用促進の効果が得られたと考える。一方、若者に対する募集方法に今後の課題にすべき部分があった。

今後の取り組み

多くの方がマイカーを所有しており、日常生活の中で電車を利用することがほとんどない。飯田線の魅力を体感してもらうためには、実際に電車に乗り、飯田線への関心を持ってもらうことが重要と考える。イベント列車にリピーターとして参加する方もいることから、今までの反省点を踏まえ、飯田線や伊那谷の魅力の再認識や知識を深められ、また電車に乗りたいと思える新しい列車ツアーを企画・継続し、今後も飯田線の利用促進を図っていきたい。